

## 第 18 回全国大会・研究発表大会 優秀ポスター賞 受賞記

青山学院大学 社会情報学部 石塚里采 北村太一 前颯馬

この度は優秀ポスター賞にご選出いただきましたこと、大変光栄に存じます。審査員のみなさまをはじめ、第 18 回全国大会・研究発表大会関係者のみなさま、情報システム学会関係者のみなさまに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今回発表させていただきました「鳥取市鹿野町における web3 を活用したまちづくり事業の提案」は、青山学院大学と鳥取県の包括連携協定のもと、過去 3 年間社会情報学部宮川研究室で行ってきた鳥取市鹿野町のまちづくり事業に関する研究を引き継いだものです。昨年度の研究では、鹿野町の住民がまちづくり事業において企画側になり、主体的に活動していくことが有効であることが明らかになりました。そこで今年度は、鹿野町を拠点に活動されている「特定非営利活動法人鳥の劇場」を研究フィールドとし、そこで働く人々の想いを明らかにすることで、鳥の劇場が鹿野町のまちづくり事業にどのように貢献していくことができるかを検討しました。研究を通して、地方の過疎化ならびに鳥の劇場の活動の人手不足を肌身で感じました。今まで対面のみでしか活動を行ってこなかった鳥の劇場に対して web3 という新しい提案をする際に、システムに不慣れな方々への対応や、鳥の劇場の持つ想いを崩さずに合意形成を図ることの難しさを痛感しました。

近年注目され、政府でも政策や取り組みの一つとして挙げられている web3 ですが、まだ確立されていない概念で、先行研究も極めて少ないのが現状です。本研究での実践を通して、web3 の可能性や現状での課題、地方創生への適用の意義が示せれば幸いです。

末筆ながら、本研究にあたりご指導いただきました宮川裕之教授、居駒幹夫特任教授、ご協力いただきました「特定非営利活動法人鳥の劇場」のみなさま、そして私どもを支えてくださっている関係者のみなさまに感謝申し上げます。